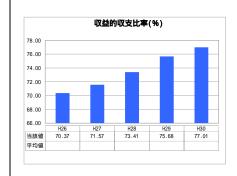
経営比較分析表(平成30年度決算)

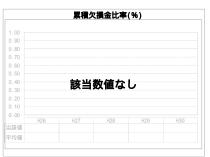
佐智県 唐津市

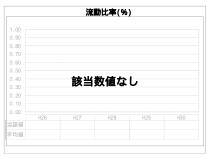
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
_	該当数値なし	7 67	101 17	2.770

人口(人)	面積(km²)	人口密度(人/km²)
122,528	487.60	251.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)
9,343	3.65	2,559.73

1. 経営の健全性・効率性













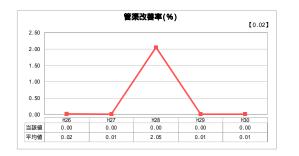




2. 老朽化の状況







グラフ凡例

当該団体値(当該値)

· 類似団体平均値(平均値)

【 】 平成30年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、毎年100%を下回っており、恒常的に単年度収支が赤字となっている。 経費回収率については、100%以上であることが 望ましいが、集落排水を普及推進するため、供用開始当初から下水道使用料を低廉に抑えてきたことや 地域間格差を生じさせないように集落排水使用別設定を公共下水道と同額としていること、また、汚水処理費が高んでいるなどの要因によるものである。

汚水処理原価については、平均値よりも高く、施 設利用率は平均値よりも低い状況である。これら は、山間地域等の地理的条件により、集落排水施設 を14施設保有しなければならず、非効率的な経営と なっているためである。

今後、将来の人口減少等による影響を考慮し、点在している集落排水施設同士の統廃合は難しいもの の、近隣の施設(公共下水道等)への接続など、抜本的な検討を行う必要がある。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水は、平成7年度に供用を開始し、約 25年が経過している状況であり、法定耐用年数(50 年)を経過している管渠は存在しないため、管渠更 新等は進んでいない。

今後は、「唐津市農業集落排水施設最適整備構想」に基づき、施設の老朽化対策を計画的に進めることとしている。

全体组

下水道事業の運営にあたり、一般会計からの基準 外繰入金により収支のバランスを取っている状況で ある

経費の健全性等を確保するには、下水道使用料の 見直しや水洗化の促進による経費回収率の向上が必 要不可欠である。これまで、経費回収率の向上と使 用者の適正な負担を踏まえて、概ね5年ごとの改正 を行っているものの新料金の抜本的な見直しによ り、市民負担の端を避けるため、大幅な改正は控 えてきた経緯がある。

今後、現行の使用料改定から5年が経過することから、使用料の見直しを行うとともに、令和2年度からの企業会計移行を見据え、経営戦略を軸に唐津市農業集落排水施設最適整備構想による施設の計画的な長寿命化を図るなど、経営の健全化に努める。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。